

Hi Fidelity MC Equalizing Amp KEQ-1000

取扱説明書



目次

1 使用上の注意	-----	2
2 使用方法	-----	3
(1) 各部の名称	-----	3
(2) 接続方法	-----	4
(3) 操作方法	-----	6

1. 使用上の注意

◇ 電源について◇

- 電源プラグを差し込む時は、電源スイッチをオフにした状態で差し込んでください。
- 雑音を発生する装置(モータ、調光器等)や消費電力の大きな機器とは別のコンセントを使用してください。
- 電源をオフするときは、電源プラグを抜くのではなく、必ず本体の電源スイッチでオフしてください。
- 電源プラグは定期的にふき取ってください。絶縁不良となり、火災の原因になる場合があります。
- 異常があったときには、電源プラグを抜いてください。
 - ・煙が出たり、異常なおいやおとがする。
 - ・音声が突然でなくなる。
 - ・内部に水や異物が入った。
 - ・電源プラグが異常に熱いそのまま使うと火災・感電の原因になる場合があります。電源を切って作る-comまでご連絡ください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、電源コード・プラグを破損するようなことはしないでください。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしないで下さい。

◇ 接続について◇

- 電源を入れたままでのプラグの抜き差しは極力しないでください。
- 出力をショートしたり、誤った接続はしないでください。異常な発熱をしたり破損の原因となります。

◇ 取扱について◇

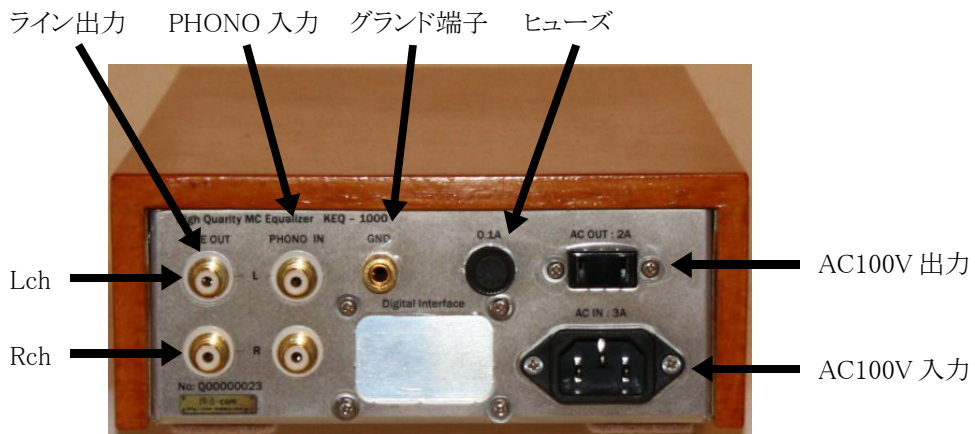
- ボリュームツマミに過度の力や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 各種設定用のスイッチに過度の圧力や衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 不安定な場所におかないでください。倒れたり落下すると、けがや故障の原因となります。
- 本機に異物(硬貨や針金等)、または液体(水、清涼飲料水、酒等)を入れないよう注意してください。

◇ 設置について◇

- 次のような場所に設置して使用すると、故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
 - ・温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器のすぐ近く、発熱する機器への積み重ね等)
 - ・湿度が極端に高い場所
 - ・ホコリが非常に多い場所
 - ・振動の激しい場所

2. 使用方法

(1) 各部の名称



(2) 接続方法

① カートリッジ接続

カートリッジの出力を PHONO 入力端子に接続します。グラウンド線はグラウンド端子に接続します。また、ターンテーブルからグラウンド線が出ている場合はグラウンド端子に接続します。

② ライン接続

ライン出力端子をプリアンプやプリメインアンプのライン入力に接続します。PHONO 入力端子には接続しないでください。

③ 電源接続

AC100V 入力に、家庭用の 100V コンセントと接続します。
AC100V 出力はターンテーブル等の電源を接続することにより、本機とターンテーブルの電源を一度に ON/OFF できます。

(3) 操作方法

電源スイッチを ON にして本機の電源を入れます。数秒後、ミュートが解除され、アナログレコード再生が可能になります。

レコード針を上げる時等はミュートスイッチを入れることにより、ポップノイズを抑えることができます。ミュート状態の時はスイッチの LED が点灯します。

KEQ-1000 取扱説明書

2012年 2月 14日 第1版 発行

発行元 作る-com
<http://www.tsukuru-com.jp>